

令和8年度京都府立大江高等学校 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p style="text-align: center;">スクールミッション</p> <p>実践的・体験的な学習を重視し、柔軟な教育を行う地域創生科を設置する高校として、各系統における体系的な学習によって、知識や技能を身に付け、多様な人々と協働する姿勢を育み、地域創生に貢献できる人材を育成する。</p> <p>スクールミッションを果たすため、生徒の、知・情・意・体の調和のとれた発達を図る。</p> <p>1 確かな学力【知】 知識や技能の基礎基本の定着を図り、自ら学ぶ意欲と課題解決能力を育てる。</p> <p>2 豊かな心【情】 徳性を高め、豊かな感性や情操を培うとともに、ボランティア精神を養う。</p> <p>3 強い意志【意】 自らの進路や新しい社会を切り拓く強い意志とチャレンジ精神を養う。</p> <p>4 頑健な身体【体】 自他の生命を大切に、健康でたくましく生きる体力を育む。</p>	<p>1 成果</p> <p>(1) 進路希望の実現に向けて系統的・計画的な進路指導を行い、第一希望での進路実現、また地域創生科創設以来6年連続となる就職内定率100%を達成した。</p> <p>(2) 地元企業や地域団体と協働で調査研究や実習を行い、各系統などでの探究的な学びを希望進路実現につなげることができた。</p> <p>(3) 個々の生徒に応じてきめ細やかな指導を継続し、安心して過ごせる学校環境を維持することができた。</p> <p>(4) 学校施設・設備に関する課題を整理し、空調設備の更新と暖房方法の整備、Wi-Fiの増設、全館LED化等の環境整備、改善を行った。</p> <p>(5) Teamsやスタディサプリの活用を進め、会議資料や連絡手段のデジタル化、ペーパーレス化を推進し、職場環境の効率化を図った。</p> <p>2 課題</p> <p>(1) スクールミッションの実現のため、めあてを持った教育活動と、評価をもとにした工夫・改善を継続して推進する。</p> <p>(2) 探究的な学びに多く取り組むことができたが、さらに、地域創生科6系統の特色ある取組を継続し、実践的・体験的で探究的な学びを、体系的でより魅力ある地元地域との連携を深めた取組へと、改善する。</p> <p>(3) 1人1台学習用端末に関して、生徒の主体的な活用とともに教職員の活用能力の向上が求められている。ICT活用授業の研究や研修を積極的に行い、情報モラルの教育を推進し、校内のネットワーク環境の整備を進めるとともに、生徒の主体的な活用を促進する。</p> <p>(4) オープンスクール等の説明会の参加者数は一定あったが、定員の充足には至っていない。本校の魅力ある取組をホームページや報道機関による広報、中学校への説明等で生徒の取組を広く発信し、志願者数の増加を図る。</p>	<p>1 生徒理解と人権尊重を基盤とした指導の充実</p> <p>(1)教職員の「気づく力」を高め、生徒理解を深める。 (2)特別支援教育の視点と人権尊重を基盤に指導を進める。 (3)生徒の自己有用感・自尊感情を育て、人権意識を高める。</p> <p>2 地域創生科を核とした探究学習の深化と魅力発信</p> <p>(1)地域創生科の教育内容を体系化し、探究学習を深める。 (2)地域資源を活用した独自の教育を発展させる。 (3)中学校・保護者・地域・行政・企業など（ステークホルダー）へ魅力を積極的に発信する。</p> <p>3 キャリア教育の推進と社会とつながる学びの強化</p> <p>(1)インターンシップなど社会と関わる学習を充実させる。 (2)地域創生に貢献できる人材育成を見据え、計画的にキャリア教育を進める。</p> <p>4 ICT活用による個別最適な学びと協働的な学びの推進</p> <p>(1)1人1台端末の主体的活用を促し、ICT活用能力を高める。 (2)情報モラル教育を計画的に進め、安全で適切なICT活用を徹底する。</p> <p>5 安全で活力ある学校環境づくりと教職員の協働体制強化</p> <p>(1)部活動・ボランティア・委員会活動など多様な学びを支える。 (2)教職員が、協働的に学び続ける組織をつくる。</p> <p style="text-align: center;">「義理と人情と志」</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織・運営	魅力ある学校づくりの推進と学びに向かう教職員集団の醸成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と密着し、関係機関及び事業所等との連携を一層推進した教育活動を実践する。 ・教職員がスクールミッション達成のため、校内外の教職員研修を積極的に受講するなど、自己研鑽に努める。 <p>【教職員一人当たりの研修参加回数平均 5回以上/年】 【分掌・教科の目標達成率 90%以上】</p>		
事務部	生徒・教職員が安心・安全な学校生活を送れる環境づくり	<p>短期経営目標に基づき、危険箇所等に対する迅速かつ適切な施設管理を行い、日々の美化清掃、整理整頓で教育環境の構築を図る。</p> <p>【教育環境改善への充足度80%以上】</p>		
	組織的な学校運営	<p>学年や分掌と連携し、学校課題の解決に向けた校内運営に参画し、教育内容充実のために適切な予算の計画的、効果的な執行を図る。 財務・会計事務の適切な処理を行う。</p> <p>【教科・分掌予算の要望に対する充足度80%以上】</p>		
教務部	地域創生科としての学びを展開する。	<p>6系統の特色を生かし、地域資源を活用した探究的な学びを授業に取り入れる。</p> <p>【系統ごとに地域資源を活用した取組を学期に1回実施】</p>		
	効果的な広報を推進する。	<p>学校説明会やオープンスクール、公式HP、Instagram等を通して、本校の魅力を中学生、保護者へ積極的にPRする。</p> <p>【Instagramのフォロワー数500名以上】</p>		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
生徒指導部	社会人基礎力の習得 (校内美化・身だしなみの向上・遅刻の減少)	すべての教育活動を通して個に応じた身だしなみ指導を行い、挨拶や言葉遣いなど社会人として必要なマナー向上を目指す。定期の点検及び生徒会、委員会が主体となった「身だしなみ向上週間」を計画実施し、新たな継続的取組を1つ計画する。あわせて、朝の校門遅刻学期末指導件数の年間0件を目指す。 【生徒会の新たな継続的取組の確立1つ以上、朝校門遅刻学期末指導件数0】		
	生徒の活力向上	部活動加入率の向上を目指し、新入生の部活動体験weekの取組を継続実施し、昨年度未達成であった兼部を除く部活動加入率が65%以上を目指す。 【兼部を除く部活動加入率65%以上】		
進路指導部	3年次生の希望進路の実現	系統的かつ組織的に進路ホームルームやガイダンスを実施するとともに、学年部と連携し、個別指導等きめ細かい指導を行う。 【3年次生の進路決定後におけるアンケートにおいて、「自分の進路に満足している」と回答した生徒の割合 80%以上】		
	生徒が主体的に進路選択できる力の育成	インターンシップを実施し、生徒の勤労観、職業観の育成を図る。また、進路ホームルーム等を通して将来のキャリアについて考えさせる。 【2年次生のインターンシップ後のアンケートにおいて、肯定的な意見を回答した生徒の割合 80%以上】		
保健部	教育相談機能の充実と特別支援教育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の生徒の様子をアセスメントしたり担任、教科担当と情報を共有したりすることで、生徒の実態や困り感を把握し、生徒が充実した学校生活を送ることができるよう支援や配慮に努める。 保護者等の願いや思いに寄り添い、卒業後の進路を見据えた支援に繋がられるよう担任・学年部と連携し、特別支援教育コーディネーターを中核に、SCやSSW、関係機関と連携を図る。 【教育相談会議と特別支援教育コーディネーター会議の開催回数 ……15回以上】		
	健康安全教育の充実を図り、自ら健康管理ができる生徒を育てる。	<ul style="list-style-type: none"> LHRでの保健学習、保健だより等の発行により、健康安全に関わる情報を発信する。 生活習慣等に課題のある生徒や健康に不安を感じている生徒、怪我の予防への保健指導の充実に努める。 悩みや不安を抱え保健室を訪れる生徒に寄り添いながら、心身共に健康な生徒の育成を目指した保健指導を行う。 【保健だより等、健康安全に関する生徒へのたよりの発行回数 ……15回以上】		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
第1学年部	規範意識の向上を目指すとともに基本的な生活習慣の定着	<ul style="list-style-type: none"> 生活マナーと自発的な挨拶の定着を目指した声掛け 学年での教員間の連携と情報共有を行うとともに、必要に応じて関係分掌との連携 家庭との連絡を密にし、問題事象への早期対応の実施 <p>【保護者アンケート満足度80%以上】</p>		
	学習習慣の定着と基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律の向上を目指した声掛けの実施 考査前の試験対策の実施 遅刻・欠席の減少を目指した指導と家庭との連携の徹底 <p>【生徒アンケート満足度80%以上】</p>		
第2学年部	基本的な生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 保護者との連絡を密に行い、遅刻・欠席の防止に努める。 挨拶の励行と規律、マナーを身につけさせる。 時間割の連絡をTeamsで行うなど、Teamsを効果的に運用することで、生徒のタイムマネジメントを行いやすくする。 <p>【遅刻指導者数10%以内】 【時間割の配布率 80%以上】</p>		
	進路意識の醸成と学習習慣の形成	<ul style="list-style-type: none"> 進路に対する目的意識を持たせる。 就職希望者は合同説明会、進学希望者はオープンキャンパスへの参加など、進路に係る取組への参加を促す。 2学期を目安に、進路面談を行う。 学習の習慣をつけさせるために学習会への参加を促す。 <p>【合同説明会、オープンキャンパスへの参加率 60%以上】 【進路面談の実施率 80%以上】 【学習会への参加者 平均10名以上】</p>		
第3学年部	自律と自立	<ul style="list-style-type: none"> 生活規律を確立させ、ルール・モラルを遵守させると共に、計画的に行動させ、提出期限などを守らせる。 下級生を牽引し学校行事や部活動などで達成感を抱かせる。 <p>【特別指導件数2件以内】</p>		
	希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を通して授業を大切にさせる。 進路指導部・教科・保護者等との連携を図り、進路指導を組織的に行う。 <p>【進路第1希望実現生徒数90%以上】</p>		